



平成 16 年 11 月 17 日

各 位

静岡県静岡市南町 14-25 エスパティオ 7F
株式会社フレームワークス
代表取締役社長 田中 純夫
(証券コード番号:3740)

東京都中央区新川一丁目 26 番 2 号
新川NSビルディング
株式会社サン・ジャパン
代表取締役社長 李 堅
(証券コード番号:2315)

**フレームワークスが中国市場へ進出 サン・ジャパンと合併企業を設立
～日本のすぐれた物流システムにより中国の物流システム市場
のリーディングカンパニーへ～**

株式会社フレームワークス(本社:静岡県静岡市、代表取締役社長 田中純夫、以下フレームワークス)と株式会社サン・ジャパン(本社:東京都中央区、代表取締役社長 李 堅、以下サン・ジャパン)は、中国北京市および上海市に物流システム販売を目的とする合併企業を設立することで本日、合意いたしましたので、発表致します。

1. 設立の目的

新たに設立する合併企業は、『飛龍日恒物流科技有限公司(予定)』として、中国北京市(本社)及び上海市(支店)に設立されます。

中国は現在、世界の工場としてあるいは巨大な消費マーケットとして、世界的に大きな影響を与えています。このため中国における物流の良否が世界のマーケットに与える影響は図りしれません。

そこで、両社では、合併にて中国法人を設立し、卓越した物流業務ノウハウと最新情報化技術の応用による高付加価値サービスを提供することで、中国マーケットひいては、世界マーケットの発展に貢献することを目的として設立します。

2. 設立の経緯

フレームワークスではかねてより、日本国内でシェアが急伸している大企業向けWMSパッケージソフト「Logistics Station iWMSR」を、中国でも本格的に販売展開していくことを計画しており、物流パッケージソフトを中国展開していくにあたってのパートナー企業の選定を進めておりました。

一方、サン・ジャパンでは自社の強みとのシナジー効果が期待できる特定業務に関してノウハウのあるパートナーをそれぞれ模索しておりました。

日本を中心に国内外に 200 を越える物流拠点の物流システム開発およびコンサルティングの実績のあるフレームワークスと、中国で豊富なシステム開発の実績と営業ノウハウ、そして中国政府との折衝力を含むマネジメント力を持つサン・ジャパンが組むことで、急激な経済成長を遂げている中国で優れたロジスティクスソリューションを提供することが可能となることから、このたび両社のニーズが合致し、合併企業設立の運びとなったものであります。

なお、フレームワークスでは、中国進出の外資企業への導入に成功した実績と中国の複数企業に対するヒアリング調査を踏まえ、これまで日本を中心に蓄積してきた多くの機能・ノウハウが中国企業の業務プロセスにもほぼ適合するとの結論を得ております。



3. 事業計画について

両社では、合弁会社設立と同時に「Logistics Station iWMSR」中国版の追加開発を開始し、2006年4月を目処に中国の2つの拠点(北京・上海)で販売を開始することを予定しています。サービス提供は、中国で普及・拡大し始めているASP(Application Service Provider)型を主体に行ってまいります。

ASP型の製品の特徴は、「Webサービス」と呼ばれるSOAP/XML形式のメッセージ交換によってネットワーク上の自律したアプリケーションを連携させる技術を採用していることです。

従来のWebシステムにおいては、プログラムはデータベースと一体化しているため、利用する人は直接データベースにアクセス・加工しなくてはならず、その処理結果はブラウザを通して閲覧することしか出来ないのに対し、Webサービスにおいては、プログラムとデータベースは一体化しておらず、利用する人のコンピュータにプログラムをおいておくことが出来るため、データベースにアクセスして処理した結果をXMLという形式で受け取り、呼び出し元のプログラムでそのデータを二次的に処理・加工することができます。画一的なサービスになりがちなASPサービスが、「Webサービス」を採用することで、複数の企業の多様なニーズに対応できるようになり、広い顧客層へのサービス提供が可能となります。

対象顧客は、中国企業及び中国進出の外国法人としています。特に、中国企業及び外国法人に限らず輸出型企業の比率が非常に高くなっており、沿岸部の保税區における保税・通関・輸出入業に関連した在庫管理に課題を持つ企業を重点にロジスティクスサービスを展開していきます。これらの企業にとって保税區は「保税保管、輸出加工、中継貿易」の3つの機能を持っていますが、WTO加盟後3年以内に、段階的に外国独資による貿易会社は保税區外でも設立することが可能となることから、今後、保税區の機能は、3つの機能のうち、パーツセンター、物流センターといった倉庫における保税保管機能に集中してくるものと思われます。その中で競争力強化の決め手となる物流センター管理システムのニーズは非常に高まると考えております。

対象顧客とする企業に対しては、新会社が新たに販路拡大を求めて営業活動を行うと同時に、中国にあるサン・ジャングループ各社の政府機関との折衝力・販売網・技術者も最大限に活用して、積極的に販路の拡大を図っていきます。

4. 今後の見通しについて

両社では、日本の大企業向けWMSパッケージでシェアNo.1を確保しているフレームワークスの「Logistics Station iWMSR」という製品ブランドは、中国市場でも大きな優位性を獲得できるものと考えています。

今回設立する新会社は、中国No.1の売上シェアと品質を誇るロジスティクスソリューションベンダーを目指して参ります

両社では、2008年には、売上高10億円規模に拡大させることを目指します。

5. 合弁会社の概要

商号	飛龍日恒物流科技有限公司(仮称)
所在地	北京市
代表者等	董事長 田中純夫 (フレームワークス代表取締役社長) 董事 周誠 (サン・ジャパン常務取締役) 總經理 従業員1名を派遣予定
設立年月	2005年1月設立予定
資本金	US\$150,000
出資比率	フレームワークス US\$100,000 (66.7%) サン・ジャパン US\$ 50,000 (33.3%)



Frameworx



7. フレームワークスについて(<http://www.frame-wx.com/>)

フレームワークスは、常に最新のビジネス環境を意識したロジスティクスシステムの提案・コンサルティングは高い評価を受け、国内外の製造・流通・物流業種の大手企業を顧客としております。WMS パッケージソフトウェア「Logistics Station iWMSR」はアジアパシフィックにおけるシェア No.1()の実績を持っています。

()出典: ARC Advisory Group

8. サン・ジャパンについて(<http://www.sunjapan.co.jp/>)

サン・ジャパンは、常に最新の IT 技術を取り込み、情報サービス分野におけるユニークかつ高度なプロフェッショナル集団として、顧客のビジネスに変革をもたらす高付加価値サービスを提供してきました。また、中国市場の将来性・人材層の厚さに早くから着目し、他社に先駆けて中国で IT 事業の本格展開を進めています。

7. お問い合わせ先

株式会社フレームワークス

経営企画室 藤田 利之 TEL:054-286-5411 FAX:054-286-5540 E-mail:contact@frame-wx.com

株式会社サン・ジャパン

経営企画室 近衛 伸賢 TEL:03-3206-1980 FAX:03-3206-1880 E-mail:info@sunjapan.co.jp

以上

* 記載されている会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。